

ミニセミナー 5

血液検査データから導く 個別化医療の最前線

診療科を問わない
オーソモレキュラー分子栄養医学の可能性

セミナー概要

本講演では、血液検査データを基盤とした個別化医療の実践として、オーソモレキュラー分子栄養医学の臨床応用について概説する。従来の血液検査は主に疾患の診断や重症度評価に用いられてきたが、その数値には生体内の栄養状態や代謝動態が反映されており、解釈の視点を変えることで、より早期の機能的変化を捉えることが可能となる。本講演では、フェリチン、亜鉛、ビタミンB群、アルブミンなどの指標を含む血液検査データを用い、生化学的背景に基づいて栄養状態を評価し、個々の患者に応じた食事指導およびサプリメント選択へとつなげる具体的手法を提示する。

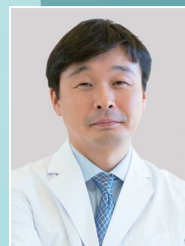
さらに近年、日本においてもPrecision Nutrition (プレジジョンニュートリション) をキーワードに、個別化に基づく栄養介入の社会実装が国家プロジェクトとして開始されている。本講演では、このような動向も踏まえ、血液検査データを活用した個別化栄養アプローチが診療科を問わず応用可能であることを示し、慢性炎症や代謝異常などの共通基盤を踏まえた疾患予測および予防医療への展開について整理する。科学的根拠に基づく栄養介入を臨床に組み込むことで、従来の治療中心の医療から、予測・予防・個別化を重視した医療への転換が期待される。本講演を通じて、血液検査データを活用した新たな臨床実践の可能性を提示する。

6/27 土

16:00~16:30

展示会場

パシフィコ横浜 ノース
(1階 G1~G4)



座長

齋藤 糧三 先生

医師
日本機能性医学研究所 所長



演者

金子 俊之 先生

医師・医学博士
NPO法人オーソモレキュラー
分子栄養医学協会 代表理事
順天堂大学付属順天堂医院
膠原病リウマチ内科 講師

